

平成23年度

第4回岡山市保健福祉政策審議会における主要な意見

- 1 日時 平成24年1月13日(金) 14:00~15:50
- 2 場所 岡山市保健福祉会館4階 こころの健康相談室
- 3 出席者 委員8名
- 4 傍聴者 報道2社、傍聴者3名
- 5 議題 ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しについて
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画素案について

6 主要な意見

(1) 地域包括ケアシステムについて

- ・一人ひとりの生活を総合的に支援する地域包括ケアシステムには、コントロールタワーの機能が重要なのではないか。
- ・地域で支援の必要な人を地域において、ちゃんとフォローできるようなシステムを作っていないとだめなのだろうと思う。
- ・地域で活動する際に、地域包括支援センターや社会福祉協議会と一緒にあって、活動することによって、かなりの前進が見られたと思う。
- ・地域活動全体のボランティアリーダーやその後継者の養成が大事だと思う。
- ・2,3年後には、高齢者が非常に増えるので、その世代を仕事に組み込めるように何かできないだろうか。

(2) 介護保険料について

- ・物価や給料が上がっていないのに、介護保険料がこの値上がりだと、かなり厳しいのではないかと感じた。
- ・負担が増えないように、スクラップ・アンド・ビルドの考えで、あまり利用がないメニューを止めることはできないのか。
- ・保険料は、一定のルールで積算するので、安くすれば、つけを後に回すことになる。

(3) その他

- ・計画3本の柱「安心」について、介護が受けられる体制整備だけではなく、高齢者が安心して生活ができる体制整備というのがあればいいのでは。
- ・地域包括支援センターを分室方式に移行して、サブセンターを廃止にすると、今よりやりにくくなるのでは。